

# 広報 しばた



## 新春の風を受けて 手作り凧 空までとどけ

三ヶ屋敷子ども会育成会では、毎年年明けに親子で凧作りを行っています。和紙に思い思いの絵を描いて、竹ひごを貼り付けると手作り凧のできあがり。早速子どもたちは、田んぼで凧を上げて遊びます。風を受けて舞い上がった凧は、気持ちよさそうに泳いでいました。  
【1月8日(土) 槻木地区】

# 誰もが暮らしやすい社会をめざして

## 第2回 身体の障がいについて考えてみよう

「耳の不自由な方が、緊急アナウンスを理解できずに不安な顔をしていた」、「目の不自由な方が、電車で座席が空いているか分からず困っていた」など、障がいでも困っている方を見たとき、手助けしたいと思っ  
ていても、どうすればいいか分からなくて、何もできなかったという経験はありませんか。

障がいには、それぞれ特性があり、困っている内容も人によって千差万別です。どんなことに困っているのかを理解した上で、どのような配慮が必要なのかを考える必要があります。

また、生まれつき障がいをもつ先天性と、病気や事故などによって障がいをもつ後天性の違いによっても、求められる配慮や支援が変わってきます。

今回は、身体の障がいの中でも、聴覚・視覚の障がいについて理解を深めていきましょう。

### 聴覚障がいとは

聴覚障がいとは、音が聞こえない、または聞こえにくい状態をいいます。

「ろう者」は、全く聞こえない人、「難聴者」は、少し聞こえる人、「中途失聴者」は、言葉を身につけた後に聞こえなくなった人です。聞こえにくさも一部が聞こえなかったり、ゆがんで聞こえたり、発音の区別がつかないなどさまざまです。

また、聞こえにくさだけではなく、声を出して話すのが難しい人もいます。

聴覚障がいを持つ方とのコミュニケーションの手段としては、「手話」「筆談」「身振り手振り」のほか、話しの唇や舌の動き、顔の表情から話の内容を読み取る「口話」などがあります。

中途失聴者や難聴者には手話が使えない人が少なく、聴覚障がいのある人全員が手話を使えるとは限りません。

### こんな事に配慮しましょう

聴覚障がいのある人に情報を求められたら、まずは本人にどのような方法でコミュニケーションがとれるのか確認してください。手話や筆談、口話などコミュニケーション方法がありますが、人によって円滑なコミュニケーション手段が異なります。話の内容を紙に書いたり、ゆっくりはっきり話したり、身振りなどを使ったりして伝えてください。書くものを持っていない時は、スマートフォンの画面に文字を入力して見せる方法もあります。

#### 筆談のポイント

- 敬語は使いすぎず、短い言葉で簡単に

敬語を使いすぎると、意味が伝わりにくくなることがあります。丁寧さは表情や態度で伝えましょう。

- 日時や内容は、直接的、具体的に

例：人身事故があって、10分ぐらい遅れているそうです。 → 人身事故。10分遅れ。

- 文章は横書き

縦書きでは文章を手で隠してしまい全体が見えないため、書き終えるまで文章が読めません。

- 適度に漢字を使う

ひらがなだけの文章は分かりづらくなります。相手の理解を確認しながら、適度に漢字を交えましょう。

## 視覚障がいとは

視覚障がいとは、視力や視野に障がいがあり、生活に支障をきたしている状態のことをいいます。

「全盲」は全く見えない人、「弱視」は見えづらい人です。弱視の方の見え方にもさまざまあり、視界の一部が見えない、ぼやける、色の区別がつかない、色が変わる、明るいまは暗い所では見えないなど個人差があり、中には文字を大きく拡大することで、目の見える人と同じように文字を読むことができる人もいます。視野に障がいのある方は、目を動かさないうで見るときに、見える範囲が狭く、目から情報を得にくいいため、音声や手で触ることなどにより情報を得ています。また、身の回りの情報や安全を確認しながら歩くために「白杖」を持っていたり、盲導犬を連れてる人もいます。

## こんな事に配慮しましょう

視覚障がいのある人が何かを探していたり、不安そうな表情をしていたりなどの様子であれば声を掛けてください。誘導が必要な場合は、肩や腕を貸して介助しましょう。

横断歩道や駅のホームなど、危険な場所を歩いている場合には、ためらわずに声を掛けてください。

### 声掛けのポイント

#### ・話しかける時は名乗ってから

声を掛けてもらっても、誰からか分からないと不安になってしまいます。自分の名前や身分を告げてから声をかけると安心してもらえます。また、遠くから声を掛けてもらっても、気付かないことがあります。気付きやすいように、近づいて正面から声をかけましょう。

#### ・説明は具体的に

行き先を説明する場合には、「あそこ」、「あれ」などの指示語を使わずに、「前」、「右」、「10m」など、方向や距離を具体的に伝えましょう。周りの状況を伝えるときは、「あなたの右側」、「〇時の方向」など基準となる言葉を伝えましょう。物の位置を伝える時は、直接手で触れてもらうようにしてください。

#### ・危ないときは誘導

危ないと言われても、状況が分からなければ動けません。危険な時は説明だけではなく、安全な場所まで誘導してください。

### 誘導のポイント



①目の不自由な人を誘導するときは、白杖の反対側に立ち、自分の腕や肩に触れさせ、半歩前を歩いてください。

②歩く速度は、相手に合わせます。

③誘導中は安全に気を配りながら、周囲の様子などを伝えてください。段差や階段などの前ではいったん止まり、「上りの階段です」、「下りの階段です」と具体的に教えましょう。

※腕や白杖を引っ張ったり、後ろから押したりするのは止めましょう。足や杖で前方を確認できないので安心して歩けません。

誰もが安心して暮らせる社会は一人一人の理解から

困っている人を見かけたら、まずは声を掛けることから始めてみましょう。ここで注意しなければならぬのは、相手の人格を尊重することです。思い込みや押し付けではなく、本人が必要とする援助を行うように心掛けてください。

そのためにも、障がいの特性や、コミュニケーションの方法について理解を深めることが重要になります。障がいによっては、外見で分かりづらい場合もあります。もし、困っている人がいたら積極的に声掛けをして、みんなでより良い社会を目指しましょう。

第3回は、肢体不自由・内部障がいについてご紹介します。

福祉課

TEL 55-5010

令和4年

## 柴田町成人式



式典には257人が出席しました



成人式を盛り上げてくれた実行委員会の皆さん



感染症対策で間隔を空けて実施した式典

1月9日(日)、船岡中学校を会場に成人式が開催されました。今年の新成人は、平成13年4月2日から平成14年4月1日に生まれた554人で、大人としての決意と自覚を胸に、新たな一歩を踏み出しました。

昨年と同様に出席は新成人のみとなり、式典の様子はライブ配信を行うなど工夫を凝らした成人式となりましたが、会場では久しぶりの友人との再会を喜びあう姿が見られました。

滝口町長は式辞で「人生を上手に生きていけるかどうかは、自分の人生に真摯に向き合うことができるかどうかにかかっています。皆さんには、若さと情熱、正義感をもって、明日への希望が見いだせない世の中を、良い方向に変えて欲しいと思います。」と述べました。

※写真の新成人は撮影時のみマスクを外しています。

問 生涯学習課

Tel 55-2135



## 20歳のメッセージ



新成人代表  
さくらい はるか  
櫻井 遥さん

この20年間で東日本大震災、新型コロナウイルスと、私たちは実に多くの災害を経験してきました。その中で、相反する二つの流れが生まれたように感じます。

一方は日常の不安感から、異なる存在を排除しようとする流れです。昨今も各地で分断や格差が進んでいます。そしてもう一方は、困難を共に乗り越えようと結束する流れです。災害の際には、人々が手を取り合い、復興へ前を向く姿が多く見られました。まだ前を向くことのできない人の傍で寄り添う方もいました。

コロナ禍に立ち向かっている今、この暖かな流れだけではなく、冷たく苦しい流れが何度も生まれるかもしれません。しかしその時に、傷つけるのではなく思いやること、阻害するのではなく迎え入れるという選択肢を私達全員がもっています。

成人を迎え、私も隣の人と手を携え、全ての人をその人自身として受け入れられるように決意いたしました。新成人代表の言葉とさせていただきます。

※一部抜粋



新成人代表  
さとう しゅん  
佐藤 駿さん

二十歳を迎え、これまでを振り返ると、平々凡々な人生を私は送ってきました。しかし、それはとても幸せな人生だったのではないかと思います。ここまで何事もなく生活ができたのは、多くの方々の支えがあったからこそだと思います。その中でも、特に友人と家族には感謝してもしきれません。

私は友人にとっても恵まれ、高校や大学受験の苦しい時には、一緒に励まし合って乗り越えてきました。両親からも何度も励まし、助けてもらいました。特に家事は、一人暮らしを始めてから大変さを痛感しました。これからは両親に少しでも楽をしてもらえるように、恩返しをしていきたいと思っています。他にも先生や地域の人など、お世話になった人たちは数えきれません。

これまで私のことを支えてくれた人の気持ちに応えるために、そして今度は、自分が誰かを支えることができるような立派な人間になることを誓い、成人のあいさつとします。

※一部抜粋



柴田町長 滝口 茂

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の一環として、ソーシャルディスタンスが推奨されたことから、テレワークやリモートでの会議が一気に普及しました。知事と市町村長との新型コロナウイルス対策に関する会議もリモートでの実施となりました。

日常の消費生活においても、現金を問わずにスマホでキャッシュレス決済をする人が増えています。また、大手ファッション店で導入されているセルフレジでは、商品をカゴに入れたままレジに置くだけで、一瞬で合計が表示され、会計を済ませることができ、大変驚いたところでは。

鉄腕アトム時代のアナログ派の我々世代にとって、漫画の世界だけだと思っていた電気自動車やロボット、ドローンでの配達などが、まさか現実になる日が来るとは想像もできませんでした。今、着実に私たちの身の回りにおいて、デジタル化や新技術の開発が進み、人々の暮らしや働き方、さらに社会のありようが大きく変わろうとしています。人々の暮らしに溶け込み始めたデジタル技術は、当然役所の業務や住民サービスの在り方にも影響を及ぼすこととなります。

役所においては現在、改善型のDX※と戦

## デジタル社会への対応

略的なDXの両面からのアプローチを模索しているところです。

改善型DXは、これまでの業務をAIやIoTを使って効率化を図るものです。例えば、AIが発言者を識別し、自動で文字を起こすシステムは、議会などの議事録作成に活用され効果を挙げています。

次に戦略的DXとは、これまでとは全く異なるやり方で、住民の利便性を高めるための取り組みです。行政手続きのオンライン化や、窓口でのワンストップサービス、観光情報や子育て支援サービス、避難所の混雑情報を提供するアプリの導入などに取り組む自治体も多くなっています。町では手始めに、マイナンバーカードをお持ちの方が全国のコンビニなどに設置されている端末から、住民票の写しや戸籍、課税・非課税証明書等を取ることができるようにしました。

人口が減り、公務員のなり手不足が懸念される一方で、求められる業務はどんどん増えるばかりです。今後、自治体を取り巻く厳しい環境変化に適切に対応していく上でも、デジタル化への対応は急がなければならぬと考えています。

※DX（デジタルトランスフォーメーション） Digital Transformation の略で、デジタル技術やデータの活用および、それに伴う組織、制度の变革が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること。

## 芸術空間

Shibata Art Gallery No. 16

# 『七色刷毛目・水玉シリーズ』(陶器)

ジェームス・オペ



私の作品の特徴でもある七色の虹をあしらった食器です。刷毛を使い優しいグラデーションを表現しました。

飾る「作品」を多く作ってきましたが、このように日常生活で使ってもらえる「製品」としての陶器をつくることも、私のものづくりの大切な要素になっています。



ジェームス・オペ

●イギリス出身。中学生の時に陶芸に出会い1982年に来日。福島県浪江町で大堀相馬焼の鈴木幸山氏に師事。1991年に柴田町の葉坂地区に雷窯(いかづちがま)を開窯。鮮やかな色あいが作品の特長。日本現代工芸展など入選多数。県内外の百貨店などでの個展を多数開催。



## 第87回のテーマは、「むし歯予防」です。

おいしく食事を味わったり、楽しく話をして笑ったりすることに、歯や口の健康を保つことは欠かせません。一度むし歯になってしまうと、自然に治ることがないため治療が必要になります。いつまでもおいしく食べるために、むし歯予防に取り組みましょう。

### むし歯の要因

むし歯には、「細菌（ミュータンス菌）」、「糖分」、「歯の質」の3つの要因があります。この3つが重なり、時間が経過することでむし歯が作られます。

#### 細菌（ミュータンス菌）

ミュータンス菌は大きさが約1μm（1/1000mm）の球状の菌です。歯こうとなって歯の表面に付着して酸を産生します。その酸によって、歯の成分であるカルシウムやリンを溶かして歯をもろくしてしまいます。

#### 糖分

食べ物に含まれている糖分は、ミュータンス菌が酸を作る材料になります。長時間の間食や甘いジュースなどの飲みすぎは、むし歯になりやすい環境をつくります。

#### 歯の質

個人差がありますが、歯を組織するエナメル質や象牙質の状況（歯の質）でむし歯になりやすい人がいます。特に乳歯や、生えたばかりの永久歯は、未成熟でむし歯になりやすいので注意が必要です。

### むし歯予防のポイント

#### 食べたなら磨くを心がける

歯みがきは毎食後行いましょう。就寝中は唾液の量が減少し細菌が繁殖しやすくなるため、就寝前は磨き残しがないように丁寧に磨きましょう。

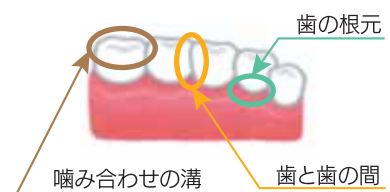
#### 間食は時間と回数を決める

間食には不足した栄養を補う目的もあります。だらだら食わずに、時間・回数を決めましょう。また、むし歯になりにくい季節の果物や野菜などの食品を上手に活用しましょう。

#### フッ化物で歯の質を強くする

フッ化物には歯の質を強くする効果があります。フッ化物配合の歯みがき剤を使ったり、歯科医院でフッ化物を塗布してもらい、むし歯を予防しましょう。

#### むし歯になりやすいポイント



#### 歯科衛生士からのアドバイス

歯ブラシのみの歯みがきでは、歯こうの除去率は約60%とされています。歯間ブラシやデンタルフロスなどを併用することで除去率は約80%まで上昇します。正しい使用法は歯科医院で相談に応じてくれます。

図健康推進課 TEL55-2160

5 ジェンダー平等を  
実現しよう



## 私たちとSDGs 連載⑤

問まちづくり政策課 TEL54-2111

### ゴール5. ジェンダー平等を実現しよう

ジェンダーとは、社会的・文化的に形成された性別を指します。世界では、女性であるというだけで、さまざまな差別を受けるケースがあります。このような課題に対して私たちは、性別にとらわれず家事や育児を分担するなど、身近なところからジェンダー平等を意識することが大切です。

町では性別に関係なく、誰もが活躍できる社会を目指し、「しばた男女共同参画プラン」を策定し、保育体制の充実や、女性の再就職支援などに取り組んでいます。

# まちかど NEWS



みんなの夢が叶うといいですね。



訪れた子どもたちは、さまざま  
な夢に興味深々でした。

## 夢と希望を込めた絵馬展

NEWS

1月4日(火)から16日(日)まで、まちづくり推進センターで招福絵馬展が行われ、町内の1/2成人(10歳)を迎えた子どもたちが将来の夢などの願いを込めて書いた絵馬が展示されました。

絵馬展を主催した柴田町商工会女性部の大槻富子部長は、「子どもたちには、この夢に向かって頑張ってほしいですね」と話していました。

## 100歳おめでとうございます

NEWS

咲間くにさん(船岡東2丁目)が、1月3日(月)にめでたく100歳を迎えられました。

蔵王町出身の咲間さんは、結婚を機に柴田町に移り住み、農業を営むご主人を支えながら、3人の子育てに励んでこられました。現在では計9人のお孫、ひ孫さんに恵まれて、会いに来てくれることをとても楽しみにしているといいます。

いつまでもお元気でいらしてください。

歌を歌ったり、鶴を折るのが好きな咲間さん。



分列行進などは行わず、訓示のみの出初式となりました。

## 柴田町合同出初式

NEWS

1月8日(土)、白鳥神社で新春恒例の合同出初式が行われました。

柴田町消防団、交通指導隊、防犯実動隊、婦人防火クラブ連合会の各団体の代表者が参加し、今年一年の町内の安全を祈願しました。

年頭の訓示で滝口町長は、「地域の消火力、防災力、抑止力の向上に向け、一層の精進をお願いしたいと思います」と述べました。

広 告

広 告



# 回覧板のあり方 についてお知らせします

問 総務課 TEL55-2111

回覧板は、各行政区や自治会などの班単位で、主に町や学校などからのお知らせのほか、各行政区や自治会からの連絡事項の周知、地域に密着した情報をお知らせする手段として活用されています。

一方で、近年の情報発信ツールの多様化や地域住民の高齢化などにより、「本来に回覧をしなければならぬものなのか」、「回覧板

を回すのが大変だ」、「コロナ禍でいろんな方が触れた回覧板を回すのはいかなるものか」などの意見も多くいただいています。

回覧板の今後のあり方について、地域の課題などの解決、町政の振興施策等、および地域住民の要望などに関する事項を調査審議する町の行政区長会において、全行政区長47人を対象としたアンケートを実施し、意見を伺いました。

## アンケート結果

質問 回覧板は必要と考えていますか

回答	回答数
必要	39
不要	3
コロナ収束まで休止	2
わからない	3

## 行政区長会からの意見

アンケート結果を踏まえ、行政区長会では、「回覧板は、町からの回覧文書や区内行事などの連絡手段として活用しているほか、住民同士のコミュニケーションの醸成や、単身高齢者の安否確認などの重要な役割もあるため、今後も必要と思われる」との意見をまとめました。

## 今後について

行政区長会からの意見を踏まえ、回覧板は地域において重要な役割を担っている現状を再確認し、町からの文書については今後も必要な情報を厳選して回覧を行います。

また、昨今のコロナ禍における回覧板による感染リスクを減らすため、回覧の際に手洗いを徹底することや、対面での受け渡しを控えることなど、基本的な感染対策の周知も行っています。

あなたのお店や会社をPRしませんか?

## 広報 **しばた** 有料広告募集

申問まちづくり政策課 TEL54-2111 FAX55-4172  
ホームページ <https://www.town.shibata.miyagi.jp/>

- 発行日・発行部数：毎月1日（年12回）発行 16,500部
- 配布先：町内全世帯および各公共施設、町内外の関係団体
- 広告の規格：1枠 縦45mm、横86mm
- 広告掲載料：10,000円/1回（1枠）
- 募集枠数：広報紙1回につき10枠（広報紙1回につき1者1枠まで）  
※枠数に限りがあるため、希望に沿えない場合があります。
- 掲載基準：「町民に不利益を与えないもの、中立性」などを考慮します。詳しくは、柴田町有料広告掲載要綱をご覧ください。
- 申込方法：所定の申込書に広告原稿を添えてお申し込みください。申込書などは、町ホームページよりダウンロードできます。
- 申込期限：2月28日(月)

広 告

広 告



こうほう 文芸

短歌

コロナ禍で三年ぶりの薬師寺参り  
 急な参道歩いて安堵す 船岡 大庭 とみ  
 木枯しに落ち葉根元に落葉樹  
 越冬凌ぐ春は待ち遠 槻木 平間 三郎  
 子供等のヘルメット白く輝きて  
 翔る翔る冬の朝陽に 船岡 可沼 妙子  
 バスツアー寂聴さんにふたたび会いに  
 境内は笑いの花に包まれて 西船迫 下浦 智子  
 白粥に土の香りて七草に  
 さ緑色の野芹広がる 船岡 伊藤タイ子  
 サザンカの輝き増しゆく夕つ方  
 庭に立ちいし夫は好みき 船岡 つかのめけいこ  
 年取った、子供ができた、病氣した、  
 人生の年輪刻む年賀来る 四日市場 鳥井崎  
 朝明けの連なる山の雪白し  
 初日が昇り輝きを染め 槻木 白石 光子  
 しんしんと積もる雪を見遠き日の  
 なつかし人の涙想わん 西船迫 OOOKA  
 愛猫の戸びらに残る爪あとに  
 冬日射しおり静かな午後 船岡 沢田 順子  
 散歩して少し短く思う時  
 これではいけぬと発奮すなり 西船迫 安ヶ平良三  
 ニューズ見た孫の言葉に爺ビックリ  
 何でミサイル平和が一番 本船迫 森田 貞六

川柳

目に見えぬコロナウイルス目の敵 槻木 平間 三郎  
 カルタ取り孫の手の上そと置き北船岡 日下 功  
 初詣で人人の人の波 槻木 加藤 マサ  
 喪中にて年賀の無い年寂しいね 船岡 阿部美代子  
 我がハニー一生青春今日も留守 四日市場 鳥井崎  
 携帯もはずして上る体重計 船岡 小林 夢子  
 箱駅伝走者花形パトバイも 槻木 村上 紫寿  
 指痛め医者診断年だから 槻木 加藤 節子  
 雪ゆえに散歩の道を変更し 西船迫 安ヶ平良三  
 オミクロン国の争いあざ笑い 槻木 大宮廣四郎  
 木枯らしに揺れるブランコ子は元氣 槻木 永井 貞子

俳句

行く年に想い出残る新年  
 分身の杖にたよりて冬の道 西船迫 平間 三郎  
 波の花車に飛びくる能登あたり  
 佐藤 厚子  
 冬將軍煮物おいしい談はずむ 船岡 可沼 妙子  
 反原発叫んで止まぬ寒怒濤  
 軒下は冬咲く花のオアシスなり 船岡 安藤 節子  
 永き日や邪馬台めぐる古書の謎  
 ふたたびのマスク姿の初詣 西船迫 沢田 順子  
 焼きたてのパン屋に急ぐ四日かな  
 朝方や疲れし夫の虎落笛 西船迫 飛鳥 米研ぎのリズム齋を打つリズム  
 日切りある命なれども寒に入る 若月ノリ子  
 夕暮の心が疼く寒さかな 中野西範子 大久保和子  
 八十路には八十路のつばき黄水仙 石垣テル子 浪山 克彦  
 初空へメタセコイアが声をあげ  
 遊佐 徹  
 山家美智子  
 三塚 直樹  
 及川美沙子  
 若月ノリ子  
 大久保和子  
 浪山 克彦

俳句・川柳・短歌に興味があり、こうほう文芸に載せたい方は、はがきなどで2月14日(月)までご応募ください。 圖 まちづくり政策課 TEL.54-2111

広 告

広 告

広 告

広 告



## 我が校の ICT 教育

# G I G A スクール推進の成果と課題

令和3年度は、学校教育の新たな時代の幕開けを実感した一年でした。児童生徒が一人一台、パソコンを使いながら学ぶ時代となったのです。成果の一端として、全校集会はリモートの活用により各教室から参加できるようになり、体育館への移動を省くことができました。また、授業ではパソコンを通じて意見交換が行えるので、口頭で発表するのが苦手な子も意見交換に参加できるようになったことなどが挙げられます。

前例のない試みに挑戦していくために、「しばたWINWIN通信（各小中学校の活用事例をインターネット上で共有できるしくみ）」で情報共有を行い、先生方の活用の足並みを揃えています。以下に、小学校と中学校の情報教育代表担当者の声を紹介します。

今後も小中学校が連携してパソコンを活用した学びづくりを進めていきます。

柴田町教育委員会 教育長 船迫 邦則

児童一人に一台与えられたパソコンを子どもたちとともに使ってみた感想としては、必要に応じてインターネット上にあるサービスを利用できることや、効果的な学習ツールを使用できることが素晴らしいと感じました。子どもたちも大きな苦勞をすることなく使用しています。


授業で活用する場面としては、2年生がミニトマトの観察記録をパソコンで作成し、デジタルの観察日記として残したり、6年生が掲示板アプリで意見を交換し合ったりする学習などがあります。このようにパソコンを積極的に活用することで子どもたちの学習意欲を高めたり、情報活用能力の育成に役立てています。情報化社会が急速に発展する中、子どもたちがパソコンを活用してクリエイティブな学習を展開できるように、教職員一丸となって取り組んでいきたいと思っています。

船岡小学校主幹教諭 三浦 博和

G I G A スクールの目的は、パソコンを活用して予測不可能な社会で自立的に生きる力を身につけさせることです。この目的を達成するため、生徒一人一台のパソコンを配備し、さまざまな活用を図っています。例えば、インターネットを利用した調べ学習や、録画機能による学習の振り返りを行うなど、学習活動の幅が大きく広がりました。特に変化を感じているのは、学習課題やクラスの仲間の意見が可視化されることで、生徒たちにとって「何を学ぶのか」、「どのように学ぶのか」などが分かりやすくなったことが挙げられます。

今後の課題は、生徒一人一人に合った学びを実現できるような活用方法を検討することや、SNSによるトラブル防止や対処法を身につけることです。生徒たちの生きる力が身につくように環境を整備し、積極的に活用できるよう道筋をつくってあげたいと思っています。


槻木中学校主幹教諭 石田 文彦



**柴田町 LINE 公式アカウント**

イベントや防災・防犯情報など、生活に役立つ情報をお届けします。  
二次元コードを読み取り、友だち追加してください。

問まちづくり政策課 Tel.54-2111




**柴田町  
フェイスブック**

<https://www.facebook.com/town.shibata>

町の景色やイベントなどを紹介!

問まちづくり政策課 Tel.54-2111



お客様の要望と、会社から求められるものを  
実現できる職人を目指します

伊藤建設工業株式会社

長岡 鉄也さん (39歳)

今回は、創業100年を超える歴史を持ち、総合建設業者として一般住宅の新築やリフォーム、公共工事などを手掛ける伊藤建設工業(株)の長岡鉄也さんを紹介합니다。



伊藤建設工業(株)に入社して10年目の長岡さん。震災後、大工だった父の手伝いをしていた現場で、社長に声を掛けてもらったことがきっかけで入社しました。「昔は、父と同じ職業に就くことに抵抗がありました。ですが、いざやってみると早いもので10年も勤めていますね」と笑って話します。

仕事について伺うと、「建築・外構工事、リフォームなど、何でもこなせる職人を育てるという会社の方針から、さまざまな現場を経験させてもらっています。そこで幅広く技術を習得できることがこの仕事の面白さですね。また、直接お客様と接する機会も多く、完成した現場で『こんなにきれいにしてもらえて良かった』と声を掛けてもらえる、やって良かったと思います」と話し、また、「作業を行うのは私でもお客様からは会社として評価されるので、一つ一つの仕事を会社の看板を背負っているという思いで取り組んでいます」

ます」と話してくれました。

入社当時、昔の職人氣質の親方の下で厳しく指導を受けてきたという長岡さん。「なぜこんなことで怒られるのか」と思っていました。が、一歩間違えれば大きな怪我につながる仕事です。危ないということを教えるときは、優しい言葉だけでは伝わらないし、記憶にも残りません。私のためを思い、あえて嫌われるように振る舞っていたんだと今では理解できます」と話します。

今後の抱負について、「建設業は厳しいというイメージがありますが、今は時代に合わせ変わってきています。昔教えてもらったことを大事にしつつ、今の時代に合った仕事の進め方を模索していきたいです。そして、一緒に働く仲間が増えてくれると嬉しいですね。建設業に興味があれば、いつでも来てください」と明るく話してくれました。これからも頑張ってください。



階段の下地としてモルタルを塗る長岡さん。



伊藤建設工業株式会社  
柴田町船岡中央3丁目8-37  
TEL 54-2216

総合建設業者として一般住宅の新築やリフォーム、店舗や工場の新築および修繕、公共工事などを幅広く手掛ける。  
従業員7人

人口と世帯数  
(令和4年1月1日現在)



37,267人  
(前月比94人減)



18,587人  
(前月比50人減)



18,680人  
(前月比44人減)



16,113世帯  
(前月比24世帯減)

※平成24年7月9日の住民基本台帳法の改正に伴い、外国人を含む人口と世帯数となります。